

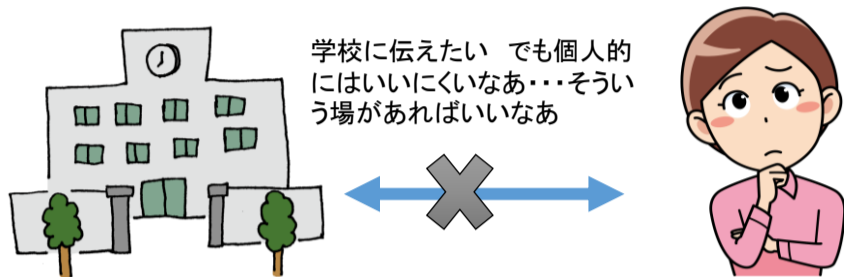
もしも P T Aがないとどうなるの？！ そうか だから 必要だったんだ…

保護者の負担は軽くなるかもしれないけれど・・・いろんなところに影響が・・・

PTAがあると保護者の意見を 学校に伝える機会が増える

保護者が学校側に子どもたちのためにこうしてほしいと思っても個人で意見を伝えるのは難しいです。P T Aがあることで、学校側に意見を聞いてもらうことができ、対応してもらえます。P T Aがなくなればそういう場がなくなり、意見を伝えにくくなります。つまり、P T Aがあるから

学校と保護者の双方向のコミュニケーションがUP！



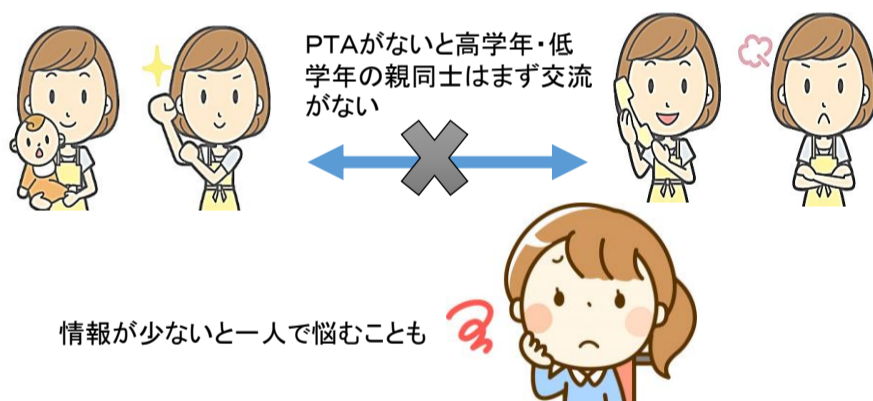
PTAのサポートがあるから 学校や先生たちが助かっている

学校側がP T Aにお願いできていた「登下校の見守り、旗振り」「窓ふき・大掃除手伝い」などのサポートがなくなるとその分を教員が負担？！学校から全保護者にその都度お手紙を出して募集なんてことに。先生方は大変。P T Aの組織的なサポートで教育現場が助かっています。支援がないと教員だけでは手が回らず、余裕がなくなり、ひいては子どもたちの教育に影響が出る恐れも。



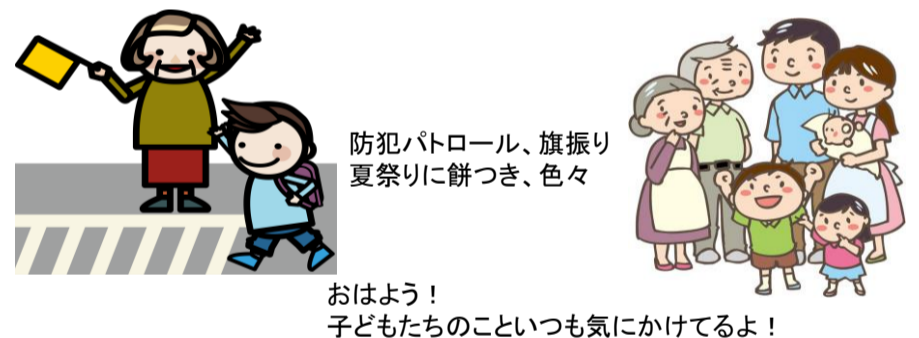
保護者同士で情報共有の場が増える

P T A活動で知らなかった人と気軽に話せるようになったという声をよく聞きます。異学年の保護者との交流や情報交換の場が自然にできます。子育て世代の共通の悩みや課題を保護者同士で話し合ったり、情報を手に入れたりできます。



PTAがあるから子どもたちを見守って くれる地域との支え合いができる

地域行事に参加するのは大変かもしれませんが、地域の方々が子どもたちの通学路の安全を毎日見守ってくれていたり、楽しい行事をしてくれたりすることを役員になって初めて知ったということもあるのでは？地域に感謝し、お互い支え合って暮らしている。そんな大人の背中を子どもに見せられます。



PTAがあるから他校との情報交換や 連携ができる

近隣校P T Aとの情報交換や交流もですが、市P連や区P連のネットワークを通じて得られる情報や広いつながりができます。

市P連の「知ろう！話そう！P T A（役員研修会）」が毎回とても好評な理由も貴重な情報源だからこそ。

困ったら相談窓口があることも安心。他P T Aからの災害時支援もなく助け合いからも孤立してしまいます。

他校とのネットワークができ相談窓口がある

PTAの組織力で 行政に要望するチャンスが増える

これまで市内のP T Aで署名を集め、トイレ改修やエアコン設置など教育予算や環境改善の要望を直接届け実現してきました。もしP T Aがなくなると区P連や市P連からの退会となり、要望が出しにくくなります。

他の学校がやってくれれば良いと皆が考えて退会すれば、市のP T A全体の組織の力が弱くなり、今までのように行政に要望を聞いてもらえなくなります。

つまり、PTAには保護者と学校と地域が連携し、
子どもの教育や安全を見守るという目的があります。

主役は子どもたち！それを大人たちがつながって支えていくのがP T A。

上の資料は令和3年に統合を控えた若葉区の大宮小学校P T A本部役員の皆さん（総務）が知恵を絞り、校内外に作成・配布した「P T Aを考えよう！Vol1～3」の一部を抜粋、引用したものです。

千葉市P連では、この資料のように他校P T Aにも活用していただけるリーフレット、ポスター、DVDを作成するために特別委員会で検討しています。
お問い合わせは市P連事務局まで

ちば市のPTA



PTAってなに？ PTAはなぜ必要なの？

P arent	=保護者・親	P → <u>ぱ</u> っと
T eacher	=先生	T → <u>た</u> のしく
A ssociation	=つながり・団体	A → <u>あ</u> つまろう

チームの力で守り支える

学校って先生と児童生徒だけで成り立っている？ それは違います。保護者や家庭のサポートや協力が必要です。それもチームで。わが子の安全を願い、わが子を守るのは当然ですが、わが子だけを守ればいいのでしょうか？ そうしたくてもできない家庭もありますよね。

どの子も笑顔で元気に通う楽しい学校にするにはチームでサポートしたほうが絶対に上手くいくのでは？ たとえば通学路の安全指導もその一つ。親が自分の子どもをいつも見守るのは大変だけど、PTAで分担し学校全体の子どもを守っているのです。また、PTAが地域と合同で行う見回りパトロールも、実は犯罪や事故の抑止力になっていることも多いのです。

子は親(大人)の背中を見て育つ

バザーなどの行事自体がPTAの目的ではありません。行事は、子どもたちも大人も笑顔いっぱい为学校をつくるという目的のための手段の一つです。保護者と教職員、保護者同士、みんながつながりサポートしていくから子どもが育つのです。子どもたちの学びの環境を良くし笑顔を守るために、PTAや保護者会の力が必要なのです。

そして、大事なそれはそれを「だれかがやるだろう・・・」の他人事ではなくて、**小さな力でもつながれば大きな力になるということです。**
皆さん！子どもは親の背中を見て育ちます。PTAや保護者会の仕事にプライド（誇り）をもって、仲間の輪を広げていきましょう。

大人が楽しめるPTA活動にするための一歩

でも役員選びはなかなか苦戦するようです。「役員は負担が大きい！」と敬遠されがち。「役員、やってもいいよ！」と言ってもらえるようなPTA活動にするためにPTAは何が大事なのか、そこから見直しを進めていきましょう。「無理せず参加でき、お互いさまの気持ちで協力し合えるPTA活動にする！」を目標に。

何だか大変みたいというイメージが先行したり、PTAがいったい何の役に立っているのかが意外と知られておらず、活動内容や会費の有益な用途も会員に全然伝わっていないため、ネガティブに受け取られていることもあるようです。もしその意義や役立ち情報をもっと伝われば皆の意識が変わるかもしれません。今、その改革に取り組み始めた学校がいくつかあります。次ページで一部紹介します。

大事ななのは **P** ぱっと **T** たのしく **A** あつまろう ですね。